

科目名	余暇論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法学部	□必修 ■選択	
				□必修 □選択	
英文表記	Leisure Studies	開講年次	□1年 □2年 □3年 ■4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	つかはら ゆうじ	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	塚原 雄二	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	余暇について、余暇の意義、余暇活動・条件、余暇の政策、余暇産業等の面から現状と課題を学ぶ。				
到達目標	余暇の意義と余暇の現状・課題を総合的に把握し、併せて自らの余暇観の探求の手がかりとする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> この授業は隔週開催の授業です。 余暇の意義、余暇活動の内容、自由時間・所得等余暇の条件、余暇に関わる政策、余暇産業等について学び、ついでグループワーク・プレゼンテーションを計画・実施する。 				
授業計画					
第1回	オリエンテーション(シラバスの確認)、第1章 余暇とは何か				
第2回	第2章 余暇の意義 ・西洋余暇思想				
第3回	第2章 余暇の意義 ・江戸時代の余暇活動				
第4回	第2章 余暇の意義 ・現代日本の余暇観・労働観 ・ホテルと旅館に見る余暇観の違い				
第5回	第3章 余暇活動の現状 ・余暇活動の現状・国際比較				
第6回	第4章 余暇の条件 ・休日と労働時間 ・家計の収入 ・余暇の意識・潜在需要				
第7回	第4章 余暇の条件 ・余暇の社会的基盤(交通ネットワーク等)				
第8回	第5章 余暇の政策・規制緩和 ・祝日の制度 ・サマータイム ・都市公園の整備 ・ナショナルトラスト ・公共図書館の整備				
第9回	第5章 余暇の政策・規制緩和 ・東京オリンピックの遺産 ・世界遺産登録の推進 ・統合型リゾート推進法				
第10回	第5章 余暇の政策・規制緩和 ・航空自由化(LCCの抬頭) ・住宅宿泊事業法(民泊推進) ・歩道の規制緩和				
第11回	余暇に関するグループワークの事前打合わせ(グループ分け、テーマ選び、発表順)				
第12回	第6章 余暇産業 ・余暇産業の市場規模、				
第13回	第6章 余暇産業 ・主な余暇産業の現状等				
第14回	グループワーク・プレゼンテーション(発表・Q&A・相互評価) その1				
第15回	グループワーク・プレゼンテーション(発表・Q&A・相互評価) その2				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	(1) 授業前に、授業用配布資料に目を通し。前回までの授業内容を復習しておくこと。(1.5時間程度) (2) 新聞等のメディアを通して余暇に関わる社会や産業の動向を常時、問題意識をもって注目しておくこと。(1.0時間程度)				
履修条件	余暇活動の全体に興味を持ち、併せて自分にとって余暇とは何かを一緒に考えてみたい人				

受講のルール	
テキスト	授業はすべてスライド(授業用資料)を使用して行います。動画等も適宜使用します。 スライド(授業用資料)は事前に大学のポータルサイトを通して配布しますので欠かさずファイルして下さい。
参考文献・資料	「余暇文明へ向かって」J. デュマズディエ著 東京創元社 1972 年 3 月刊 「西洋余暇思想史」瀬沼克彰著 世界思想社 2008 年 7 月刊 「レジャー白書」日本生産性本部 (毎年 8 月頃発行)
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 60%、その他 40% (授業参加度、グループワーク等) を基本として総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合および授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業日の火曜日 10:00~10:30、12:10~13:00、18:00~18:30 事前にメールで、または授業の前後にリクエストしてください。
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を生かした授業内容	私はエアラインとホテルビジネスにそれぞれ約 15 年間携わってきましたが、いずれも人々の余暇活動を支える余暇産業の中核をなすものです。授業の中で、そうした余暇関連の実務経験を織り交ぜながら、余暇とは何かということについて実践的な学びを提供します。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生時代から定年後の元気な時代までを含めると、自由時間が労働時間を上回る時代となっており、今や「人生は余暇の時代」と言えます。余暇活動を考えることが自分の人生や暮らし全般を考えることにつながります。楽しい、心豊かな暮らしを求めて一緒に考えましょう。 ・やむを得ず欠席する場合、授業内容で質問のある場合、就職活動で相談したい場合、面談を希望する場合、などいつでも次のアドレスにメールで連絡してください。yuji.tsukary@gmail.com